

# Visual Studio 2008 + GLUT による Computer Graphic

Visual Studio 2008 と GLUT を使用して 3DCG を実行する際の手順を説明する。

## 1 GLUT の準備

1. GLUT を取得する。
2. 取得したファイルを展開して内部のファイルを次の様に配置する。

```
glut.h      C:\Program Files\Microsoft SDKs\Windows \v6.0a\Include\gl
glut.lib     C:\Program Files\Miscosoft SDKs\Windows \v6.0a\Lib
glut32.dll   C:\WINDOWS\system32
```

## 2 Visual Studio 2008 の起動とプログラミング

1. 「スタート」 「Visual Studio 2008」
2. 起動時の「スタートページ」のウィンドウに作業目的のプロジェクトがあれば、それをクリックする。  
新規作成のときは 「ファイル」 「新しいプロジェクト」
3. 「新しいプロジェクト」のウィザードの場合は次の様に入力する。

“プロジェクトの種類” = “全般”

“テンプレート” = “空のプロジェクト”

“プロジェクト名” = “test”(適当)

入力後  をクリック。

4. ネットワークドライブ (Z:ドライブ) を使用しているときは、警告のウィジェットが現れるので、 (無視) をクリック。
5. 「表示」 「ソリューションエクスプローラー」でソリューションエクスプローラを常時表示しておく。
6. ソリューションエクスプローラのウィジェットで “ソースファイル” のアイコン上で右ボタンをクリック
7. 「追加」 「新規の項目」または「既存の項目」  
「新しい項目」を選んだ場合は「新しい項目の追加」のウィジェットで次の様に入力する。

“カテゴリ” = “Visual C++”

“テンプレート” = “C++ファイル”

“ファイル名” = “sample”(適当)

入力後 追加 をクリック。

8. ソースファイルの編集
9. 「ファイル」 「保存」
10. 「ビルド」 「ビルド」でコンパイルとリンクを実行
11. 「デバッグ」 「デバッグを開始」で実行
12. 終了

### 3 Visual Studio 2005 との違い

Visual Studio 2005 とは細かいところで異なるので、こちらに慣れている人のために、現在分かっている範囲で違いをあげておく。

- “ソリューションエクスプローラ” はデフォルトでは表示されていない。これがないとファイルの作成もできないので、注意。
- Visual Studio 2005 の “ビルド & デバッグなしで実行”(ショートカットの CTRL+F5) も「デバッグ」 「デバッグなしで実行」もなくなって、「デバッグ」 「デバッグ」(ショートカット F5) のみになっている。この点は特別面倒はないようである。
- DOS ウィンドウの表示が保持されない。一瞬で消える。(最悪の変更点)。したがって、標準入出力を使う、DOS ウィンドウを使用するようなプログラムは、DOS ウィンドウから直接、コマンドラインで使用せざるを得ないようである。
- さらに、Windows Vista では、この DOS ウィンドウがネットワークドライブを認識しない。そのために、標準入出力を使うプログラムは、ワークスペースをネットワークドライブにおくことができない。Windows XP と異なり、ユーザの領域はユーザ ID のついたフォルダーが自動的に作成されるので、そこを使用するしか方法は無い。